一般社団法人 日本建設業連合会 第8回 作業所長講演会

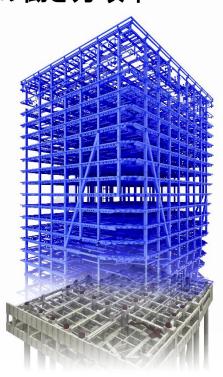
「働き方改革と人財育成の両立に向けて」

~施工図改革による生産性の向上、よりよく働くための働き方改革~









2025年 10月 10日 前田建設工業株式会社 宮元 豊

1. はじめに

施工管理において心掛けている事は、、

『宮元作に拘った建物』をお客様へお引き渡す (もちろん関係者や組織の支援の下で)

所長の仕事とは、、、

宮元作とは言っても一人では何もできません。 皆が納得する是々非々で現場運営を行い、 全員が拘りを持って仕事ができる環境を提供 することだと考えています。

1. はじめに

行きついた結果の 所長方針

規律ある明るい現場

規律に拘り、可能な限り多くのルールを作らず、自主的に管理できる組織としたい。

2. 自己紹介

みやもと ゆたか

宮元 豊 (53)

1992年 4月 前田建設工業株式会社入社 1992年 5月 九州支店 建築作業所勤務 2000年 6月 九州支店 建築部 勤務 2011年10月 九州支店 建築作業所勤務 2012年 9月 九州支店 初めての作業所長 現在に至る

⇒ 勤続年数:33年

⇒ 担当現場:新築22件、増改築1件

⇒ 作業所長:9物件



2. 自己紹介



主な担当工事

福岡市第2期展示場等整備事業

2019.10~2021.2【17ヶ月】 工事金額 41.5億円 S造 地上2階+塔屋

特徴:展示室面積 5,000m² 収容人数 6,000人





主な担当工事

福岡東総合庁舎敷地オフィスビル(仮称)新築工事

2022.3~2024.3【24ヶ月】 工事金額 81.1億円 S造 地上12階、地下1階

特徴:3フロア毎にツイストした外観





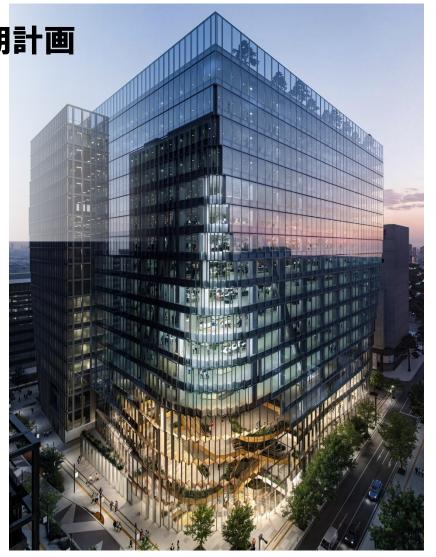
現在の担当工事

(仮称) 天神ビジネスセンター2期計画

2023.10~2026.6【33ヶ月】 工事金額 262.3億円 S造 地上18階、地下2階、塔屋2階

特徴: 地下2階から7層吹抜け空間





現在の担当工事



3. 今回のテーマ

「働き方改革と人財育成の両立に向けて」

~施工図改革による生産性の向上、

よりよく働くための働き方改革~

テーマに対する取組として

- ①施工図改革
- 2人財育成
- ③労働時間管理

- ①施工図改革 BIMをフル活用して生産性向上
 - 1. 3Dモデルから2D施工図を生成 (2Dで作図・編集をしない・・・施工図改革)
 - 2. 3Dイメージにより「もの決め」スピードアップ
 - 3. 干渉チェックによる施工不具合の低減
 - 4. BIMモデルから設計変更積算に挑戦中

現場の「働き方改革」は工事部門ばがりに焦点が当たり、工務担当者の業務ではあまり進んでいない印象があります。

私は施工BIMに詳しくありません。 しかし、施工BIMには多くの利点がある事は理解しています。 今後の現場には<mark>施工BIMのフル活用</mark>が必要不可欠だと 思うことから、どこまでできるかトライしました。

なお、本取組は当社では過去事例がなく、本社支援等がない中、 当作業所独自の取組として試行錯誤しながら実施に至った。 今後本社とも連携して会社の標準化に貢献したい。

1. 3Dモデルから2D施工図を生成 (2Dで作図・編集しない)

これまでの施工BIMは、

施工BIM用の3Dモデル作成

2D施工図の作図・編集

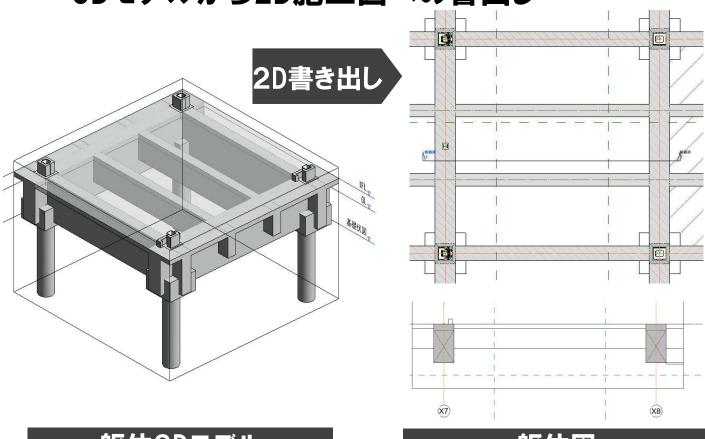
ダブルスタンダード

ダブルスタンダードの維持は困難で、BIMはそのうち放置状態となります。

そこで、作業所独自の取り組みで3Dモデルによる

2D施工図出図に向けて改革に挑戦!!

今までの施工BIM 3Dモデルから2D施工図への書出し



●従来の3Dから 2Dへの書出しでは、 寸法や符号が記載 されず、そのままで は施工図として使 えない!



●2DCADで情報を 加えることで施工 図としていた!

躯体3Dモデル

躯体図

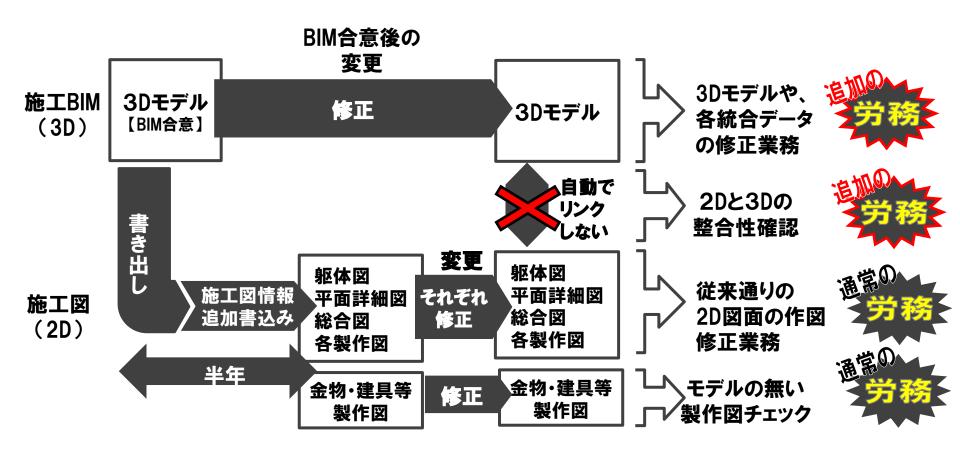
施工BIMから施工図を作図する為の問題点

- 3Dモデルから施工図の下地を書出し2DCADにて 寸法や符号等の情報を追記する編集期間が必要
 - ●2DCADでの情報入力の為、躯体工事開始の 半年程前に3DモデルをFIX
 - ●躯体図をFIXする為に平面詳細図の3DモデルもFIX

躯体開始半年前にBIMモデル合意

施工者、監理者、発注者、大きな負担に、、、

施工BIMから施工図を作図する為の問題点 従来のワークフロー



施工BIMから施工図を作図する為の対策

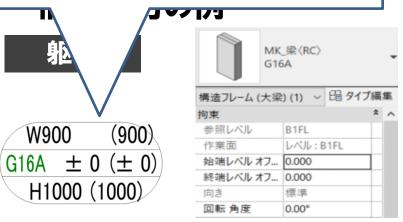


施工BIMから 施工図を作図する為には

各部材モデルがもつ 情報量が鍵

各部材(柱、梁、壁等)に符号や寸法等の情報を入力

躯体符号を2D書出し時に表示させる 為に躯体符号テンプレートを作成し、 部材モデルに断面情報やレベル情報 を与える事で表示可能にした。 同様に室名符号と壁符号のテンプ レートを作成し、各情報を与える事で 表示可能にした。



	回転 角度 0.00°	
パラメータ	ſ	直
マテリアルと仕上げ		
構造マテリアル	MK_RC	
構造		
断面形状	未定義	
寸法		
中央 梁せい	1000.000	
中央 梁幅	900.000	
識別情報		
イメージ(タイプ)		
キーノート		
モデル		
製造元		
コメント(タイプ)	G16A	

平面詳細図

01_室名	防災備蓄倉庫
02_部屋番号	テナント倉庫
03_床仕上レベル	±0
04_コンクリートレベル	-10
05_天井高さ	CH2700
25_床仕上1	ビニル床シートA
45_天井仕上1	GB-Rt9.5
46_天井仕上2	ジプトーンライト

	機能	マテリアル	厚さ	納まり	構造マテリアル	変数
1	下地[2]	準不燃GB t9.	9.5	~		
2	下地[2]	不燃GB t12.5	12.5	\checkmark		
3	躯体境界	納まりより上にあ	0.0			
4	構造 [1]	LGS100	100.0		✓	
5	躯体境界	納まりより下にあ	0.0			
6	下地[2]	不燃GB t12.5	12.5	V		
7	下地[2]	準不燃GB t9.	9.5	V		

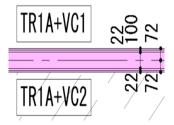
壁種符号	TR1A
壁種符号2	TR1A
防火区画	防火区画
壁仕上1	VC1
壁仕上2	VC2

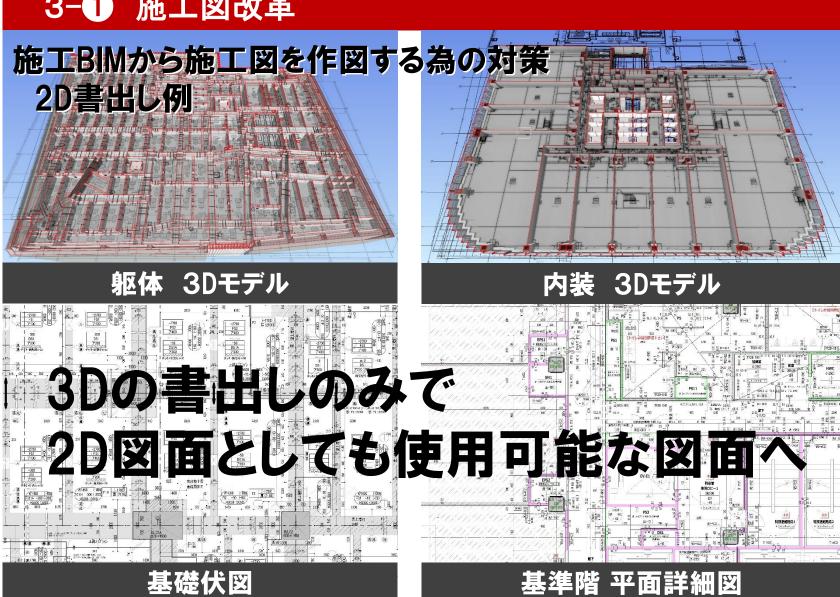
防災備蓄倉庫

筆Q同作業所具護演会

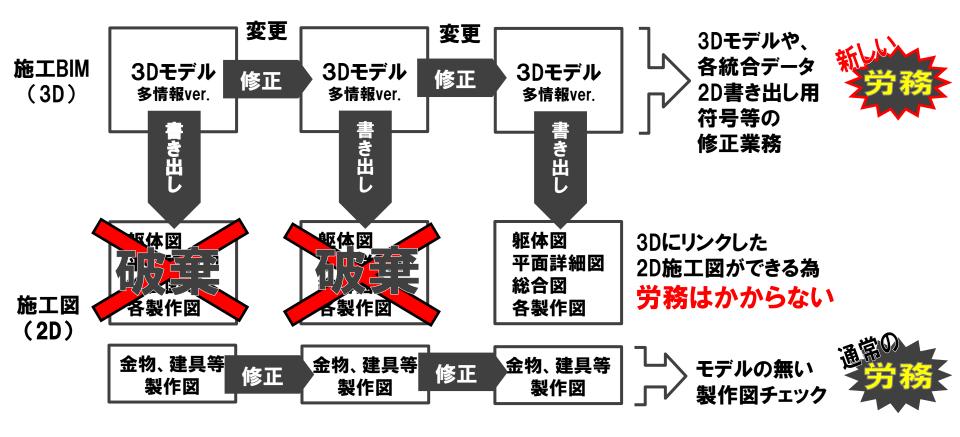
CH2700	
±0	
-10	

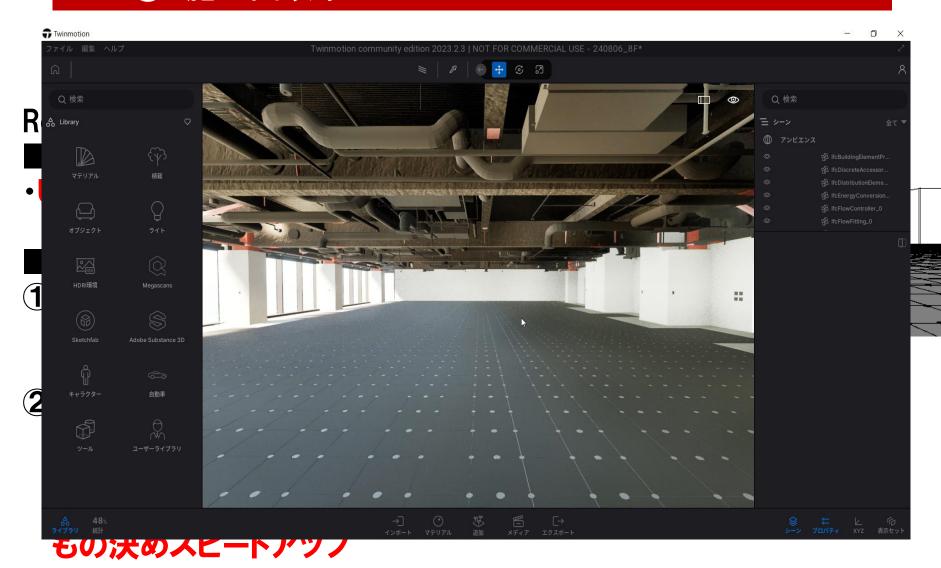
床:ビニル床シートA





改善後のワークフロー



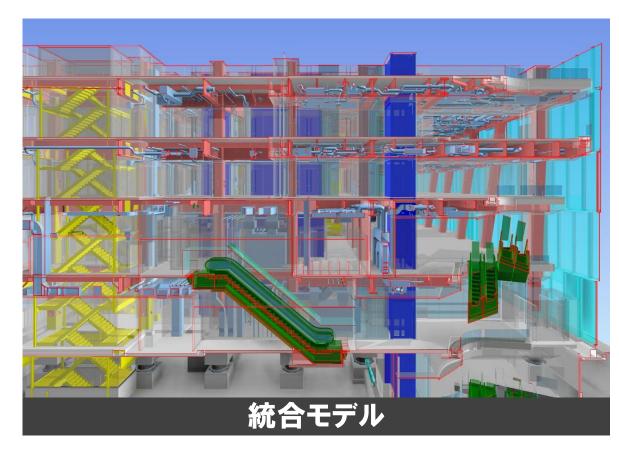


2. 3Dイメージにより「もの決め」スピードアップ



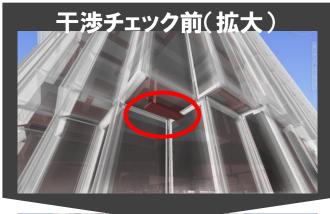
3.干渉チェックによる施工不具合の低減

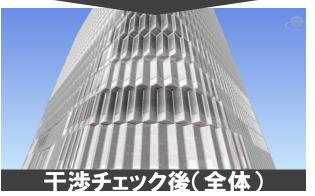
- •EV
- •ESC
- •鉄骨FAB
- ·鉄骨階段
- ACW
- ·空調衛生設備
- ・電気設備

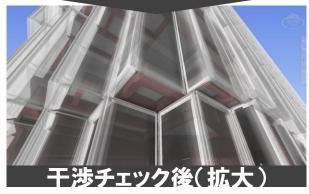


3.干渉チェックによる施工不具合の低減







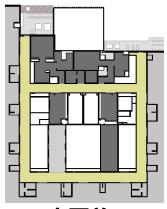


- ■NavisWorksにて 干渉チェック
- ●各所外装と鉄骨と

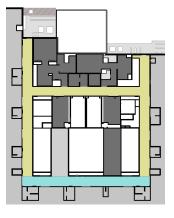
の干渉を確認

- 2構造設計者へ確認
- ❸鉄骨サイズの変更
- 4 鉄骨業者へ指示
- **⑤再度修正モデル** にて干渉チェック

4.BIMモデルから設計変更の積算に挑戦中



変更前



変更後

<床集計>						
A B C D						
レベル	タイプ	面積	אעגב			
8FL	RC 160 仕上げ 100	2581.63 m ²				
8FL	有孔亜鉛メッキ鋼板 60	46.71 m²				
8FL	有孔亜鉛メッキ鋼板 60	18.71 m²				
8FL	PC床 125	7.54 m²				
8FL	RC 160 仕上げ 50	26.90 m²				
8FL	タイルカーペット CA1	225.57 m²				
8FL	仕上げ 15	94.79 m²				
8FL	RC 160 仕上げ 100	131.01 m²				
OCI	0011±12	CE E42				
8FL	タイルカーペット CA1	120.97 m²	251010_変更後			
8FL	石	43.46 m²	251010_変更後			
BFL	タイルカーペット CA1	164.43 m²	251010_変更前			

- 2人財育成
 - ~未来につなぐ技術伝承~
- 1.グループ面談による協働の意識強化
- 2.施工図コミュニケーションによる成長の援助
- 3.他支店の新任所長を現場に招きマネジメントを伝承!
- 4.雑談を通じて風通しの良い職場環境の構築

1.グループ面談による協働の意識強化

工事、工務、品質グループの班体制で現場を運営する上で、横のつながりを持つために班の垣根を超えたグループ面談を定期的に開催しています。 お互いを知ることにより、連携(協働)が取れる組織に成長!

良い意見に 先輩も後輩もない!

個人面談では話せない人も グループ面談では発言できて ます(想像してなかった効果)

※グループ面談の約束事 人の意見を否定しない!



2.施工図コミュニケーションによる成長の援助

第1回目の製作図チェックバック前に、担当者からチェック概要を説明してもらいます。所長方針や失敗した経験をアドバイスできる良い機会と捉え、前向きに取り組んでいます。現場のベクトルが揃い、施工図修正頻度が減ることから、協力会社さんの負担軽減にも効果があります。

これが本当のOJT だと思っている!

失敗談は説得力がある!



3.新任所長を現場に招きマネジメントを伝承

他支店から新任所長を受入れ、私の現場運営を力説しています。 新任所長の不安な気持ちを払拭して、少しでも役に立てばと思い、 積極的に受け入れています。

全てをさらけ出す 気持ちで伝えます!

数名の新任所長(候補)を招 き4日間の研修を実施。

他支店の良好事例を 知ることができる良い機会。

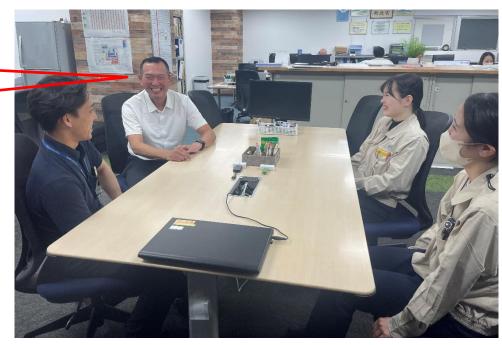


4.雑談を通じて風通しの良い職場環境の構築

仕事と関係ない雑談を意識的にしています。日常的に話す間柄になることで、いつでも話しやすい存在に自然となってきます? トラブルやミス、何でも報告しやすい雰囲気とするには、上長が努力するべきだと考えているからです。

『所長はえらい人』 それは勘違い!

ウザイ所長と思われている可能性も...



- ③労働時間管理
 - ~労働時間の短縮と職長会の自立と活性化~
- 1.職員の労働時間管理と業務効率の改善
 - ·PC稼働時間管理 ·シフト制導入 ·机上業務宣言!
- 2.Directの有効活用により、業務効率の改善
- 3.職長会の自立と活性化への取り組み
 - ・統括職長制度 ・職長会主体の現場運営

1.職員の労働時間管理と業務効率の改善

·PC稼働時間管理



PC管理ソフト

SmartWorkingSolution (SWS) を導入 1日の労働時間を自分で設定し、管理

労働時間を意識することが大事!

Smart Working Solutionの導入

利点①:事業所単位で契約出来る

利点②:申請、承認がDirectで完結

1.職員の労働時間管理と業務効率の改善

・シフト制の導入

シフト表

A 7:00-16:00

B 8:00-17:00

B2 9:00-18:00

C 11:00-20:00

D 20:00-5:00

〇 休暇

□ 有給

△ 振替休日

シフト制を導入し、月毎の予定表を記入。 残業担当、夜間担当、早朝担当などを 決めることで、個人の残業負担を軽減。

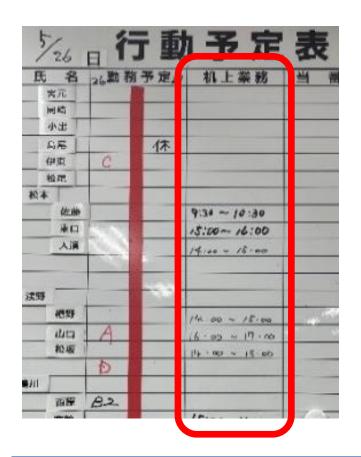
B2出勤を多くしたい・・・ 1時間現場に居なくても何とかなります。

重要:業務引継ぎの方法

対面で引継ぎできないこともあるので、全員が同時編集できるe-Yachoシェアノートにて引継ぎ録を作成し、全体共有

1.職員の労働時間管理と業務効率の改善

・机上業務宣言!



各人が行動予定表に今日の机上業務時間を宣言して記載。

自分で決めた時間は事務所で業務。 残業に回しがちな業務を日中に実施。

自分で宣言しているのだから、 事務所で業務できるように、現場の段取りや 調整をするようになる。

2.Directの有効活用により、業務効率の改善



10:07

- ●火気作業、ピット作業の届出類はDirectにて行い、管理帳票を削減。現場チェックや資格確認など、チャットで解決できるものはチャットで済ませる。
- ●現場で困ったことも写真入りでチャット相談。現地確認不要なもの、図面変更の差し替えなどdirectで行う事で、業務の時短となる。

「やった方がいいよね」という事は・・・やるなと指導しています。「やるべきだ」という事に的を絞って、業務量を減らそうと考えています。

3.職長会の自立と活性化への取り組み

·統括職長制度

統括職長鹽豐



尾園建設㈱ 黑木 篤

- ① 統括職長パトロール (毎日) 日々の現場巡視と各社への指示
- ② 各種安全パロールの参加 職長会パロール (1回/週) 安全パロール (1回/月)
- ③ 作業計画支援 (TPM、eYACHO) (各種計画書操作含む)

職長を束ねる元請け的な立場の 職長として統括職長を任命(勝手に命名) 職長会運営と安全管理に特化して 活動してもらっています。

職長会に専念する統括職長いることで、 現場運営がスムーズになります。

職員と職長の橋渡し を担っている。

3.職長会の自立と活性化への取り組み

・職長会主体の現場運営

職長会が活性化することで、 現場運営の企画、管理を自主的に できる組織に成長してきています。

統括職長のリーダーシップと自立した 職長会により、若手職員の雑務が減り、 負担が減ったことで施工管理に専念 しやすい環境になりつつあります。



①施工図改革

- ✓ 今後の現場運営には施工BIMのフル活用が必要不可欠です。 施工図も施工BIMの時代へ!
- ✓ 今期、当社でも設計施工における設計図+施工図の品質向上 を主眼とした「建築生産設計部」が立ち上がっています。

本取組みは、BIMの目指すべき方向性の1つと確信しますので、 今後、BIM標準化の観点でも貢献したいと考えています。

施工BIMの完全実用化を全国に広めたい!



②人財育成

✓ 「協働の意識強化」「成長の援助」「マネジメントの伝承」 「風通しのよい職場環境の構築」 私が知っている事は全て伝える!!





③労働時間管理

✓ 管理ツールや負担軽減策で労働時間の管理を行ってはいますが、「悩み倒す」時間の確保までには至りません。 個の力(技術力)の向上には自己研鑽が不可欠!!



一般社団法人 日本建設業連合会

以上の取組みは

『規律ある明るい現場』が根本であり

現場に携わる全員が納得する現場運営を行い、 規律に拘り、自主管理ができるプロ達が作った 建物

それが、

『宮元作に拘った、良い建物を作る』という事だと思っています。

一般社団法人 日本建設業連合会 第8回 作業所長講演会

ご清聴ありがとうございました。



